

# 夏休み！ 読んでみたいこの一冊

## ③ 高学年から

図書展示

平成 29 年 7 月 14 日(金)～8 月 31 日(木)

神戸市立中央図書館



### ポッパーさんとペンギン・ファミリー

R・アトウォーター、F・アトウォーター著

R・ローソン絵 上田一生訳 文溪堂

1996.8

PV:6000056897 Y アト

ペンギン屋のポッパーさんの夢は、南極や北極に行くことでした。ポッパーさんは、いつも南極の本を読んでいたので、南極のことはとてもよく知っていました。ある日ポッパーさんのもとに、南極探検家からペンギンが送られてきました。ポッパーさんは大喜びで世話を始めるのですが…。



### おまけ鳥

飯田朋子作 長野ともこ絵

新日本出版社 2012.8

PV:7200269008 Y イイ

ぼくの家は「来る来る亭」というラーメン屋。あすなる学園を卒業したおねいちゃんも手伝っている。そんなお店に、特別支援学校に通っている芳君がやってくるようになった。おねいちゃんと芳君のために、お父さんが先生になってぎょうざ作りの講習が始まった。そこに、ぼくも友達のみつるも巻きこまれていく。



### 糸子の体重計

いとうみく作 佐藤真紀子絵

童心社 2012.4

PV:7200243610 Y イト

5年生の糸子は食べるのが大好き。なのに、夏休みにダイエットにはげむことになった。ちょっと太めの友達をかばって、自分の体重を平均体重にまで下げられるかどうか、クラスメイトの良子とかけをしたのです。友達のためにがんばる糸子の姿は、いつもクールに決めている良子の心にさざ波を立てます。



### ダストビン・ベイビー

ジャクリーン・ウィルソン作 小竹由美子

訳 ニック・シャラット絵 偕成社 2004.8

PV:7000244079 Y ウィ

エイプリルは 14歳の女の子。生まれてすぐに、ごみ箱(英語でダストビン)に入れられているところを発見され、いろいろな家やしせつで育ててきました。それでも生みのお母さんに会いたくて、誕生日の朝、今の保護者マリオンの家を飛び出します。過去をたどるエイプリルが見つけたものは…。



### 名前をうばわれた少女

ジョアン・M・ウルフ作 日当陽子訳

朝倉めぐみ絵 フレーベル館 2012.8

PV:7200271520 Y ウル

第二次世界大戦中ナチスドイツは、支配していたチェコスロバキアのある村をおそいました。大人たちを殺したり強制収容所へ送る一方で、幼い子供のうちドイツ人によく似た顔をしている子を、ドイツ人の養子にしました。この本は、ナチスに名前をうばわれ、取りもどした一人の少女のお話です。



### 空を飛んだ男の子のはなし

サリー・ガードナー作 三辺律子訳

小峰書店 2013.8

PV:7200341568 Y ガー

トーマスの誕生日に、妖精がやってきて、願いごととは何かと聞きました。トーマスの一番の願いは、いつもふきげんなお父さんが楽しくなることでしたが、自分のことでないとだめと言われ、空を飛ぶことと願いました。でも、大人たち、とくにお父さんは、トーマスが空を飛ぶことを認めようとしません。



### つづきの図書館

柏葉幸子作 山本容子絵

講談社 2010.1

PV:7200124091 Y カシ

地元図書館で司書として働き始めた桃さん。図書館の中で桃さんに声をかけてきたのは、本から飛び出てきたお話の中の登場人物たち。かれらは、自分たちが登場する本を借りた子供たちのその後を知りたい、というのです。おどろいた桃さんでしたが、いっしょに探してあげることにしました。

### クローディアの秘密



### クローディアの秘密(新版)

E.L.カニグズバーグ作 松永ふみ子訳  
岩波書店 2000.6 (岩波少年文庫)  
PV:6000280201 Y カニ

クローディアは、計画的に家出をしました。ヴァイオリンケースにパジャマや下着など必要なものを入れ、弟といっしょに、美術館にかくれようというのです。昼は見学の小学生にまぎれこみ、夜は展示してあるベッドでねむりました。そして二人は、あるちょうこくにに関するなぞに取り組めます。



### 緑の霧

キャサリン・ヴァン・クリーヴ作  
三辺律子訳 ほるぷ出版 2017.3  
PV:7200525811 Y クリ

ポリーの家は「魔法の力」に守られた不思議な農園です。チョコレートの味がする野菜、決してだれもおぼれない湖、決まった時間に降る雨。ところが緑色の霧が湖をおおいはじめると、雨は降らなくなり、作物はかれはじめます。「魔法の力」を信じるポリーは、農園を守るために立ち上がります。



### テッドがおばあちゃんを見つけた夜

ペグ・ケレット作 吉上恭太訳  
スカイエマ絵 徳間書店 2011.5  
PV:7200191127 Y ケレ

町で銀行強盗事件が起き、犯人は逃走中。その夜、アルツハイマー病のおばあちゃんといっしょに留守番をしていたテッドは、ニュースで言っていたのとそっくりな姿の男と出会い、トラックに乗せられてしまいます。男は犯人なのか？！危機を乗り越えたテッドに、ある気持ちの変化がおとずれます。



### 幽霊船から来た少年

ブライアン・ジェイクス著 酒井洋子訳  
早川書房 2002.12  
PV:7000113143 Y ジェ

約400年前、「フライング・ダッチマン号」が沈没しました。この船はその後幽霊船となり、大海原をただよっているのだという伝説があります。助かったのは、ネプという少年とかれに寄りそう黒いラブラドル犬。二人は年をとることなく、かれらを必要とする場所に現れるのです。

### 地下の洞穴の冒険



### 地下の洞穴の冒険

リチャード・チャーチ作 大塚勇三訳  
岩波書店 1996.5 (岩波少年文庫)  
PV:6000033324 Y チャ

夏休みも残りわずかとなったある日、田舎に来ていたジョンは、ワラビのしげみの中に、穴を発見しました。それは洞穴の入口でした。仲間たちをさそって、調べることにしたジョン。食糧、ロープ、電気灯、必要な物を準備して出かけたが、予想をこえて洞穴は大きく広がっているのです。



### ぼくたちに翼があったころ

タミ・シムトヴ作 樋口範子訳  
岡本よしろう画 福音館書店 2015.9  
PV:7200455991 Y トヴ

暮らしが貧しくぬすみを得意としていた少年ヤネクは、姉のすすめでコルチャック先生の孤児院に入ることになりました。そこは、子供が一人の人間として尊重され、愛情をもって育てられる「孤児たちの家」でした。第二次世界大戦目前のポーランドに、実際にあった理想の家をヤネクの体験として語っています。

### 風につけてきたメアリー・ポピンズ



### 風につけてきたメアリー・ポピンズ

(新版) P.L.トラヴァース作 林容吉訳  
岩波書店 2000.7 (岩波少年文庫)  
PV:7000023195 Y トラ

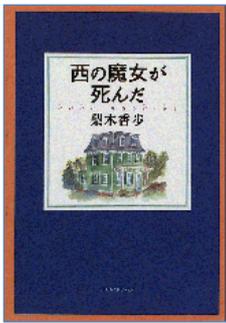
メアリー・ポピンズは、桜町通りのバンクス家に、新しくやって来た子供の世話係です。メアリー・ポピンズが来た最初の夜、子供たちは、「ねるまえに一さじ」と書いたびんに入った薬を飲まされることになります。マイケルの一さじはストロベリーアイスの味、ジェインの一さじはライム・ジュースの味でした。



### 有松の庄九郎

中川なをみ作 こしたミカ絵  
新日本出版社 2012.11  
PV:7200292799 Y ナカ

江戸時代のはじめのころ、尾張の国(今の愛知県)のある村では、貧しさに苦しんでいました。そこで、仲間をつのって新しい土地に移り住むことにしました。リーダーとなったのは竹田庄九郎。けれども、貧しさは変わりません。そこで苦勞の末、「有松絞り」と呼ばれる染め物を生み出したのです。



### 西の魔女が死んだ

梨木香歩著  
小学館 1996.4

PV:6000024083 Y ナン

学校でいじめにあい不登校になった中学生のまいは、「西の魔女」と呼んでいる祖母の家でしばらく暮らすことになりました。祖母はイギリス人で、自然に囲まれた家に一人で暮らしています。まいは祖母のもとで、「魔女修行」を始めることになります。修行とは、何でも自分で決めるということでした。



### ぼくがバイオリンを弾く理由(わけ)

西村すぐり作 スカイエマ絵  
ポプラ社 2008.10

PV:7200062629 Y ニシ

コンクールに落選した11歳のカイトは、自分のバイオリンが受け入れられなかったことになやみ、バイオリンをやめようとして思っけてしまいます。しかし、「祈りの花」という題名の一枚の楽譜に会い、その曲にひかれていきます。そして、カイトは自分のバイオリンを見つめ直すことになるのです。



### モギちいさな焼きもの師

リンダ・スー・パーク著 片岡しのぶ訳  
あすなろ書房 2003.11

PV:7000187647 Y パー

「盗みと物乞いはしちやならぬ」。そう言っけていさんに育てられた孤児のモギは、橋の下で暮らしていました。名焼きもの師ミンの見習いとして働くことになったモギは、働いて得た食べ物のおいしさを味わい、正直でまじめな性格で、ミンやおかみさんの信らいを得るようになっていきます。



### テオの「ありがとう」ノート

クロディーヌ・ル・グイック=プリエト著  
坂田雪子訳 PHP 研究所 2016.3

PV:7200477786 Y プリ

生まれつき体に障害があり、車いすで生活する12歳のテオ。何をするにもだれかにお願いしなければならぬ自分や、その度に「ありがとう」と言わなければならぬことにうんざり。どうすれば人に「ありがとう」と言っけてもらえるかを探し始めたことをきっかけに、テオは人の助けを借りられるように変わっけていきます。

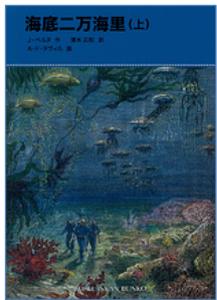


### チビ虫マービンは天才画家!

エリース・ブローチ作  
ケリー・マーフィー絵 伊藤菜摘子  
偕成社 2011.3

PV:7200182392 Y ブロ

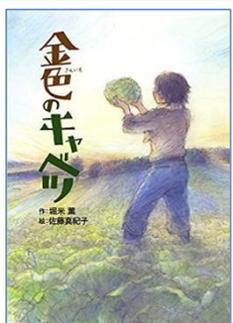
天才的に上手な絵をかく虫の男の子マービンと、さえない人間の男の子ジェームズの二人(?)。ジェームズの両親が、息子に絵の才能があるとかんちがいたことから、二人は絵画どろぼう事件に巻きこまれます。



### 海底二万海里 上・下

J.ベルヌ作 清水正和訳 A.D.ヌヴィル  
画 福音館書店 2005.5 (福音館文庫)  
PV:7000305021 / PV:7000289947 Y ベル

人間社会と縁を切り、潜水艦ノーチラス号を操るなぞの男、「ネモ艦長」。潜水艦を巨大なクジラだと思っけてついでに三人の男たちは、海に落ちたところを、ネモ艦長に救われました。ノーチラス号でネモ艦長と進む海底二万海里の旅は、地上の人間が知ることのできない、おどろきとなぞに満ちていました。



### 金色のキャベツ

堀米薫作 佐藤真紀子絵  
そうえん社 2014.12

PV:7200420150 Y ホリ

テストはよい成績だったのに、ママは「もう少しで全部百点だったのにね」と言っけて。風香は夏休み、両親にないしよでお父さんの弟の仁ちゃんの所へ出かけました。そこは、見わたすかぎりのキャベツ畑。風香はキャベツと生きる人々と出会い、忘れられない経験をします。



### 十二番目の天使(ジュニア版)

オグ・マンディーノ著 坂本貢一訳  
塚本やすし挿画 求竜堂 2002.4

PV:7000068962 Y マン

事故で家族を亡くし毎日なげき悲しんでばかりいたジョンは、少年野球の監督を引き受けることにしました。少年ティモシーは、体が小さく野球の技術も全然だめ。けれども、かれはどんなことがあってもあきらめません。やがて、チーム全体が最後まであきらめないことの大切さを知るのですが…。



**海へ出るつもりじゃなかった 上・下**  
 アーサー・ランサム作 神宮輝夫訳  
 岩波書店 2013.5 (岩波少年文庫)  
 PV:7200319966 /PV:7200319967 Yラン

ジョンとスーザン、ティティとロジャの4人きょうだいは、あらしの夜、かれらだけが乗った小さな帆船は、港から流され北海に出てしまいます。「海には出ない」という母との約束を破ってしまった苦しみと座しよの危険、船よいなど、子供たちはさまざまな困難を乗り越え、あらしの海を進みます。



**とぶ船(新版) 上・下**  
 ヒルダ・ルイス作 石井桃子訳  
 岩波書店 2006.1 (岩波少年文庫)  
 PV:7000325552/PV:7000325553 Yルイ

ピーターがうす暗い店て手に入れたのは、両手にのるくらいの小さな船でした。この船は、願ったところに飛んでいくことのできる魔法の船でした。昔のイギリスに時間をさかのぼったり、エジプトに行ってみたり、ピーターとそのきょうだいたちのぼうけんが続きます。



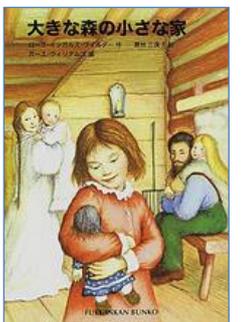
**影との戦い(ゲド戦記 1)**  
 ル=グウィン作 清水真砂子訳  
 岩波書店 1976.9  
 PV:7000026363 Yルグ

魔法使いとしての才能を見いだされたハイタカ(ゲド)は、学院で修行をはじめました。かれはその才能を次々に発揮するのですが、とうとう禁止されていた術を使い、「影」を呼び出してしまいます。その結果、「影」におびえながらの孤独な旅に出ることになってしまいます。



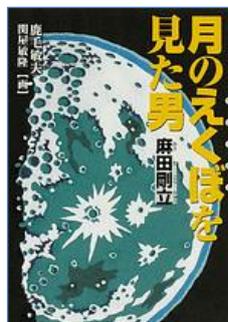
**ルール!**  
 シンシア・ロード作 おびかゆうこ訳  
 主婦の友社 2008.12  
 PV:7200069357 Yロー

キャサリンの8歳の弟デービッドは自閉症です。そのせいで友達とうまくいかない、キャサリンはいつもイライラしています。そんな時親しくなったジェイソンの前では、無理をしないで自分らしくいられるのです。でも、車いすで話すこともできないジェイソンを、他の友達にしようかできません。



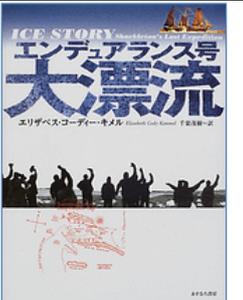
**大きな森の小さな家**  
 (インガルス一家の物語 1)  
 ローラ・インガルス・ワイルダー作 恩地三保子訳 ガース・ウィリアムズ画  
 福音館書店 2002.6 (福音館文庫)  
 PV:7000077937 Yワイ

大きな森に住むインガルス一家の物語。幼い少女ローラが、お父さんのメープルシロップ作りを手伝ったり、家族みんなで力を合わせて生活していく様子が力強くあたたかく、引きこまれます。



**月のえくぼ(クレーター)を見た男**  
 麻田剛立 鹿毛敏夫著 関屋敏隆画  
 くもん出版 2008.4  
 PV:7200037551 Pアサ

日本の近代天文学のきそをつくった麻田剛立。かれは望遠鏡で月のクレーターを見て、日本で最初の月面観測図を作りました。剛立は友達と遊ぶより、空を見上げて観測を続けるのが好きな子供でしたが、お大きくなっても空への興味はつきません。それどころかますます広がっていくのでした。



**エンデュアランス号大漂流**  
 エリザベス・コーディー・キメル著 千葉茂樹訳 あすなろ書房 2000.10  
 PV:6000296701 297

この本は、南極大陸横断にいどんだシャクルトン隊長とエンデュアランス号の27人の乗組員たちの漂流の記録です。かれらが冒険の希望に燃えて出航してからほぼ2年の間、南極の海はかれらを苦しめ続けました。それでも、この航海は今も「偉大な失敗」と呼ばれています。それはなぜでしょうか。



**未来のクルマができるまで**  
 岩貞るみこ作  
 講談社 2016.6  
 PV:7200492342 54

2014年12月、世界初の燃料電池で走る車、「ミライ」が発表されました。水素と酸素を化学反応させ電気をつくるのです。本格的なプロジェクトは1999年に開始されました。開発にはたくさんの失敗や苦労がありましたが、個性豊かなメンバーが一致団結し、長い年月をかけて取り組んだのです。